

町長発!

“がんばる” トーク

町長 上川元張



昨年11月初旬から12月初旬の1ヶ月間、若桜宿内でグリーンスローモビリティ(以下「グリスロ」)の実証実験運行を行いました。期間中、町内外の延べ365名の方にご利用いただきました。ご協力いただいた皆様には感謝申し上げます。

グリスロとは、電動式で環境にやさしく、低速走行で小回りが利き、どこでも乗り降り可能な、開放感のある乗り物です。コンパクトな中に住宅や商業施設、医療福祉施設や公共施設が密集し、重伝建の町並みなど見どころも多い若桜宿によく似合う乗り物ではないかと思えます。昨年1月に町民主体のグリスロ導入・活用検討委員会を立ち上げて、運行に向けた検討を重ねていただき、買い物や通院など生活の足として、また、来町された観光客の2次交通の手段としての利用を期待して実施したものです。

利用者の6割の延べ219名からアンケートの回答を得ました。それによれば、9割以上が乗車に満足され、同じく9割以上が地域に必要な乗り物だと回答されています。実際に乗られた方は良さを実感される一方で、利用者は期待したほどは多くありませんでした。寒い時期であったこと、エスマート開店前で駅前の人出が少なかったこと、運行

ルート等の周知が不十分だったことなどの要因が考えられますが、反省材料として次に活かしたいと思います。

また、鬼ヶ城跡やたくみの館など幅広いルート設定を求める声、観光案内を期待する声、複数台での運行を望む声など、本格運行に向けた前向きなご意見も多く寄せられました。利用料金については、無料を求める声のほか、100円までなら利用するという人が約半数ありました。

今後、検討委員会で実施結果を分析し、利用者のニーズや課題等を把握した上で、本格運行への移行の可否を検討していただきます。必要であれば、条件を変えて再度実証運行を行うことも選択肢と考えられます。

グリスロは昨年度末時点で全国130の地域で実証運行がなされ、うち本格運行に移行したのが32の地域、県内にはまだありません。重伝建エリアの魅力を高めるツールとしても、またコミュニケーションの場としても、本格運行につなげていければと考えています。



▲グリスロ